

第7回 大阪公立大学アカデミア創薬シンポジウム



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

主催
大阪公立大学創薬科学研究所

新たな作用機序による 創薬を目指して

次世代医薬品の創生には、最新の病態生理学 research と連動する優れた作用機序研究が重要な鍵となります。

本シンポジウムでは異なる切り口で新しい創薬にアプローチされている3名の研究者より最新の成果を紹介します。

14:00-14:05

開会宣言 / 挨拶

創薬科学研究所の設立に向けて 本日のテーマと講演者紹介

大阪公立大学 大学院農学研究科
教授 / 創薬科学研究所長 乾隆



14:05-14:30

第1講演

液-液相分離から紐解く タンパク質凝集と神経変性疾患

近畿大学 医学部脳神経内科 主任教授
大阪公立大学 創薬科学研究所 客員研究員 永井義隆



14:30-14:55

第2講演

新たな骨髄腫治療薬の創製を目指した 天然物のアップデート

大阪公立大学 大学院理学研究科
講師 中山淳



14:55-15:20

第3講演

コモンクロスシード仮説から創薬へ ~新規 GAPDH 凝集阻害薬による 広域スペクトラム脳アミロイドーシス治療薬の創製~

大阪公立大学 大学院獣医学研究科
准教授 中嶋秀満



15:25-15:45

質疑応答 / 閉会

質疑応答と討論

対象 どなたでもご参加いただけます

申込 申込専用フォームより事前にお申込ください
締切：令和5年6月22日（木）

https://www.omu.ac.jp/ura/contact/form_souyaku_7.html



令和5年

6月26日(月)
14:00-15:45

Zoom オンライン

聴講無料・要申込

*お申込みの際の個人情報は、応募後の事務連絡、統計資料などの作成および本学イベント情報等ご案内に使用いたします。利用目的以外のご使用については、一切致しません。
*お申し込み時に登録いただいたメールアドレス宛に、事務局より視聴案内をお送りいたします。
*シンポジウムの進行時間は目安であり変更になる場合があります。